

立命館経済學

第46巻 第6号

1998年2月

奥村剋三教授退任記念論文集

内 容

奥村剋三教授退任記念論文集の刊行に寄せて……………杉	野 園 明	1
エリセーエフとネフスキイ……………松	山 真 一	3
——水田紀久, 河合忠信, 日野貴夫三氏の問題提起に寄せて——		
「ソフィアの歌」と大黒屋光太夫……………生	田 美智子	19
近代ユダヤ史における東欧と西欧……………角	伸 明	40
——ハシディズムとハスカラーの歴史的評価に関して——		
「ネヴェェ河の幻」の変容……………松	本 賢 一	57
——『弱い心』から『罪と罰』へ——		
НЕСКОЛКО СЛОВ ОЪ ОКУМУРА		
КАЦУДЗО-СЭНСЭЙ……………Георгий СВИРИДОВ		69
国民国家と異文化交流……………西	川 長 夫	73
——文化交流を妨げるものと促進するものとの関係についての 理論的考察——		
アラゴンの『現代文学史草案』について……………川	上 勉	85
これもまたヘルダー論のためのひとつの試み……………松	宮 秀 治	107
『文学論』の「失敗」と漱石のリアリズム……………中	村 泰 行	122
発話行為 (Speech Acts) にあらわれる言語文化……………Lee	凧 子	150
——日本語母語話者の特徴——		
戦後日本財政の時期区分……………坂	野 光 俊	165
——『図説日本の財政』の検討——		
市場経済化の「ロシア的なもの」……………芦	田 文 夫	184
西園寺公望のフランス語蔵書……………奥	村 功	208
従破壊到復興? ——從經濟史來看「通往南京之路」——……………金	丸 裕 一	226
ブブノーアさんの思い出……………奥	村 剋 三	240
奥村剋三教授略歴・主要著作目録……………		242
共同研究室・第46巻総目次……………		247

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第46巻・第4号

論 説

産業構造の変化と国土・環境問題（上）	奥地正
現代経済学における価値論について	高木彰
米国における冷戦経済の形成	藤岡惇
1997年11月の金融パニックについて	福光寛
日本の海外直接投資の貿易効果について ——従来の実証研究の検討——	稲葉和夫

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第46巻・第5号

故日高正好教授追悼号	
故日高正好先生追悼号に寄せて	杉野 囿 明
日高正好君を偲んで ——その著書といくつかの思い出——	宮地 國 敬
天啓としての民衆芸術	奥村 家 造
先住アメリカ人作家の世界	須田 達 稔
「英語文学」論序説	大本 達 也
ヘンリー・ヴォーンの詩 The World における 永遠と時間	西村 尚 介
コンピュータ利用による英語教育の可能性 ——実践事例とその問題点——	吉田 信 介
トマス・ヒューズ『トム・ブラウンの学校生活』再読	大井 靖 夫
サリンジャーとその周辺たち ——ニューヨークに舞うユダヤ系作家たち——	森川 展 男
ダーシィ・マクニクル『包囲されて』 ——合衆国先住民の小説——	西村 頼 男
Golden Apple への道程 ——“A Solemn Thing within the Soul”を中心に——	岩田 典 子
『オリヴァ・トゥイスト』の日本語訳 ——ディケンズ翻訳史のひとつま——	藤村 公 輝
「イーサン・ブランド」 ——〈許されざる罪〉の本質——	高島 清
20世紀の版本と編纂における Q 1 Hamlet	野口 忠 昭
J. London, The Road—19世紀アメリカ社会の インサイド・ストーリー——を読む	辻井 榮 滋
ケインズの不均衡分析	松川 周 二
故日高正好教授略歴・主要著作目録	

発行所 立命館大学経済学会